

令和 3 年 8 月 26 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 酒井 はやみ 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>1 子どもの医療費 18 歳まで無料に</p>	<p>厚労省が発表した「乳幼児等に係る医療費の援助についての調査」の結果によると、2019 年 4 月現在、中学卒業まで医療費を助成している市区町村は、外来、入院とも 9 割超まで広がっています。18 歳年度末まで助成する市区町村は、2015 年 4 月時点では通院・入院とも 16%程度でしたが現在 4 割に達しています。一部自己負担や所得制限を設ける自治体も減っており、すべての子どもに必要な医療をとという世論と運動で、無料化拡充が進んでいます。</p> <p>十勝では、18 町村中 10 町村が 18 歳年度末まで助成、全国的には、愛知県東海市や豊田市、春日井市などで昨年度から 24 歳以下の大学生まで入院無料になるなど、流れはさらに広がりつつあります。</p> <p>幕別町では、2015 年 10 月から中学卒業まで無料となり、「幕別町に移住する決め手になった」、「躊躇なく病院に連れていけるようになってありがたい」など、子育て世代をはじめ町民から歓迎されています。医療費助成が子育てを大きく支えることが実感されているだけに、助成年齢の引き上げを求める声はますます強くなっています。</p> <p>とりわけ切実なのは、喘息やアレルギー、精神疾患など、継続した医療を必要とする子どもたちです。保護者からは「高校生になって医療費の負担がずっしりと生活にのしかかる。病気とお金の二重の不安でつらい」などの声が寄せられています。加えて、子どもの貧困の深刻化、コ</p>

<p>2 高い国保税の軽減対策を</p>	<p>コロナ禍での収入減の影響が、子どもたちの心身の健康を脅かしています。</p> <p>今こそ、すべての子どもたちに必要な医療を保障することが求められていると考えます。子育てに大きな希望のメッセージとなる医療費助成の拡充について、以下の点を伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 子どもの医療費助成の拡充に向けて検討を開始するべきだと考えるが、町の認識は。 ② 18歳年度末まで医療費助成を実施した場合に、必要となる予算は。 ③ 国に対して、子どもの医療費助成制度の創設を求める考えは。 <p>コロナ禍で深刻な影響を受けている事業者にとって、ただでさえ高い国保税が、ますます重くのしかかっています。事業収入等が前年より減少した世帯を対象に減免制度が創設され、来年度からは子どもの均等割軽減がスタートします。しかし、「すでに収入が減っていた昨年との比較では減免対象にならない」、「子どもの均等割自体廃止を」の声も聞かれます。</p> <p>国保税が、より事業主の実態に即した公平な内容となるよう、減免制度の充実が必要と考え、以下の点を伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① コロナ禍での収入減に対する国保の減免制度の活用状況は。また、制度を充実する考えは。 ② 子どもの均等割軽減の前倒し実施と減免拡充を。
----------------------	--